

教科によるP D C A

～ 研究テーマ「学び合い、考える力を伸ばす授業を目指して」～

芸術科

平成 20 年度実践報告

1. 第 1 回授業評価（6/26～7/18 実施）を受けて

ア. 前年度の成果と課題（本年度授業のめあて） Plan

2 学期前半までは、基礎的な表現の技能を身に付けさせることにより、表現や創作及び鑑賞の活動を通して、芸術の楽しさや美しさを味わわせることが概ねできたのではないかとされる。そして、年度後半に生徒一人一人の達成目標等を設定したり、毎授業ごとに指導案を作成したりして、内容の確認をしながら授業を行い、授業後に生徒の反応や理解が浅い部分についての反省をしながら進めることにより、自主的に表現する能力を育て、鑑賞する能力を育てることが概ねできた。

しかし、表現の技能の個人差が大きいため今後の課題の与え方や内容の設定等について工夫していく必要がある。

今年度も、芸術の幅広い活動を通して芸術を愛好する心情を育て、感性を高めることと、表現と鑑賞の能力を伸ばすことを目標にしていきたい。

イ. 取り組みの方法 Do

今年度も、一人一人の能力に応じた課題を設定し、グループ活動等を通じて内容の確認をしながら授業を行い、授業後に生徒の反応や理解が浅い部分についての反省をしながら進めていきたい。

ウ. 第 1 回授業評価の結果分析と課題 Check

1 学期の授業評価は、概ね良い評価であったが、評価方法について理解できていない生徒が 3 割程度いた。

エ. 2 学期に向けての改善の手だて Action

表現の技能の個人差が年を追うごとに大きくなっているため、今後の課題の与え方等について工夫していく必要がある。

また、評価については、実技テスト前には、評価のポイントの説明を繰り返して行ったが、まだ理解できていないようなので、2 学期当初に再度説明をし、今後も機会あるたびに説明を繰り返していきたい。